



- ※ SWIM用USBは、開発完了したら使わなくなります。そのために次の2つをやらなければなりません。
- ※ SB1,SB2は、SWIM用USBケーブル経由でプログラミングしたりデバッグしたりするときだけにショートします。なので、SWIM用USBケーブルを接続しないときには、openにしておきます。さもないと、STM8Sにリセットがかかりっぱなしになって動かないんです。
- ※ FT232RL基板のUSBから3.3Vを供給してもらうために、STM8S-discoveryのJP1は除去します。代わりに、FT232RL基板の3.3VをJP1の2pinに接続します。